

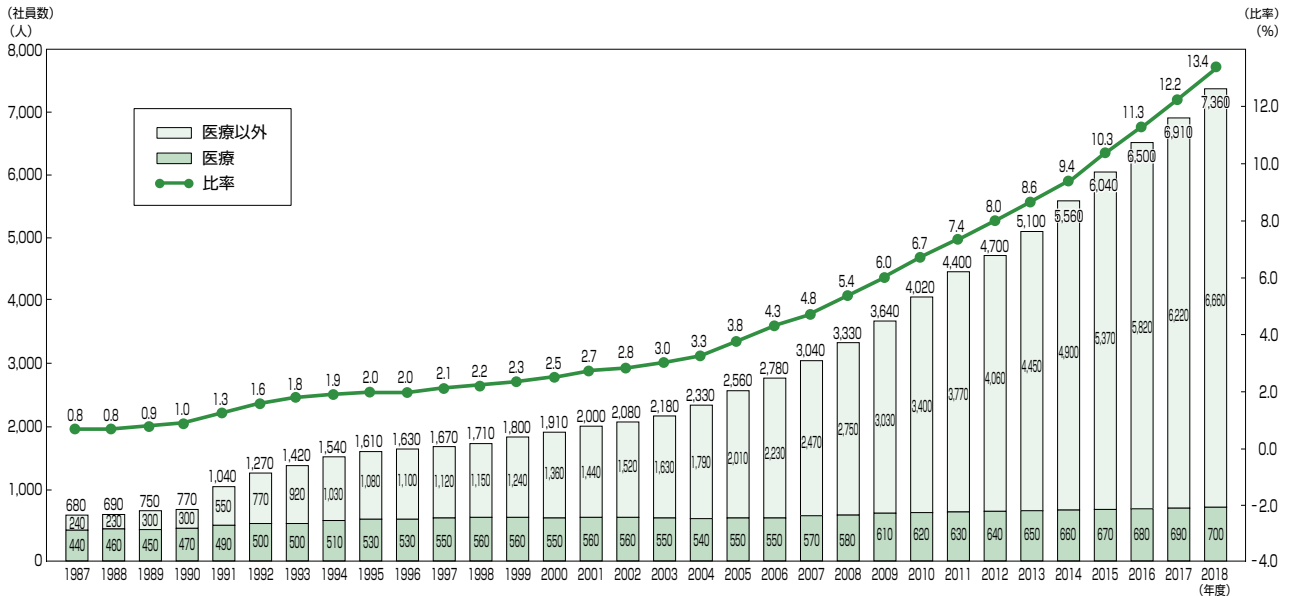
# 社員の働きがいの向上に向けた取組み

## ■「ダイバーシティ・マネジメント」の推進

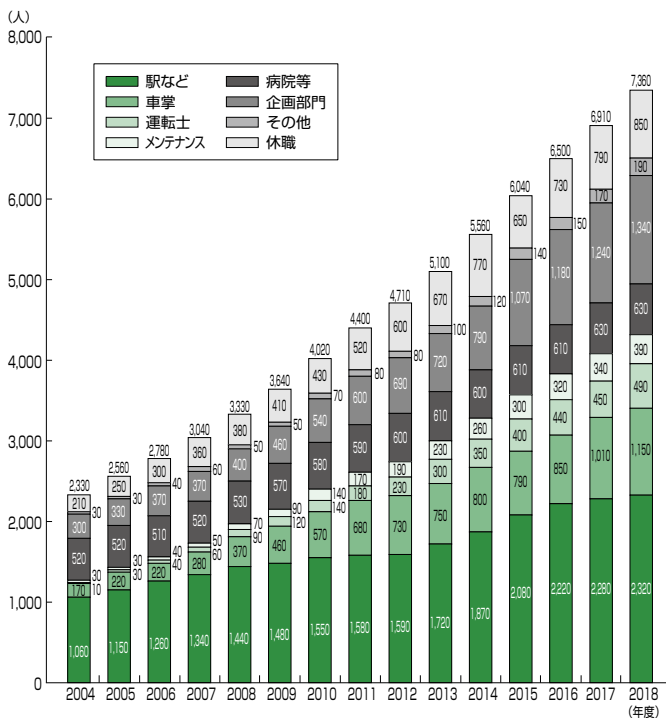
当社は、JR東日本グループで働く社員等が有する性別などの属性、経験および技能を反映した多様な視点や価値観の違いが、当社の強みであると認識しています。

特定の社員だけではなく、若手からベテランまでの全世代が連携していく中で、多様な人材がその能力を最大限発揮できる企業グループをめざし、ダイバーシティ・マネジメントを推進しています。

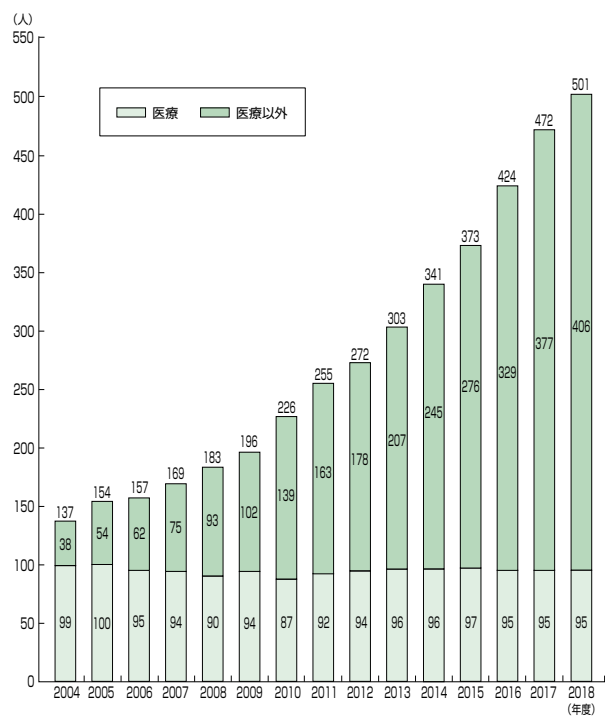
### ●JR発足後の女性社員の状況



### ●女性社員の活躍の場の拡大



### ●女性管理者数の推移



### ●エルダー社員制度

定年退職後の雇用を希望する社員を満65歳に達するまで、「エルダー社員」として当社で再雇用する制度を設けています。定年を迎えた多くの社員が、グループ会社等への出向を基本としつつ、一部の社員は当社において各自の能力やスキルを活かして働き続けることにより、グループ全体での業務運営や技術継承、人材育成に寄与しています。

働きがいの向上

## ■人材の力を高めていくために

私たちの仕事の本質は、お客さまの毎日の生活を支え、地域の発展のために貢献するという「公（パブリック）を担う自覚とその実践」です。JR東日本グループが持続的な成長を続けるには、自ら考え自ら行動し、お客さまや地域の皆さまに信頼されるような、各分野のプロを育成することが不可欠です。

そのため、人材育成にあたっては、社員の意欲に応えつつ、管理者のマネジメント力の強化、技術継承及びグループ会社を含めた人材育成に取り組むことで、JR東日本グループ全体の人材力を向上させることを目指しています。

### ●研修制度

社員の能力開発の場として、さまざまな研修制度を設けています。

#### ○集合研修及び社外研修

JR東日本総合研修センターをはじめとして、各支社の研修施設、総合訓練センター、技能教習所、営業トレーニングセンターおよび部外施設において数々の研修を実施しています。

研修種別	2015年度	2016年度	2017年度	主な研修
人材開発研修	30,600人	27,600人	25,500人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ会社の新任取締役・監査役セミナー</li> <li>・マネジメント研修</li> <li>・管理者セミナー</li> <li>・新入社員および若手社員研修</li> <li>・昇職試験合格者研修</li> <li>・My Project関係研修</li> </ul>
知識・技能向上研修	57,400人	53,000人	49,100人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転士、車掌養成研修</li> <li>・訓練センター・営業トレーニングセンター研修</li> <li>・各種業務知識・技術力向上研修</li> </ul>
社外研修	5,000人	3,600人	3,500人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異業種交流研修</li> <li>・各種資格取得研修</li> <li>・海外研修</li> </ul>
合計	93,000人	84,200人	78,100人	

#### ○通信研修

自己啓発支援の一環として、一般教養・資格取得を主体とした社外通信研修、鉄道業務を主体とした社内通信研修を実施しています。

研修種別	2015年度	2016年度	2017年度
社外通信研修	384講座	369講座	369講座
社内通信研修	52講座	52講座	52講座

### ●技術アカデミー

意欲ある若手社員を鉄道技術の各分野の中核を担う人材に育てるため、2009年3月に「技術アカデミー」を設立しました。2018年3月に開講の第10期では12系統（安全・車両設計・車両メンテナンス・運輸・保線・土木・建築・機械・電力・信号・通信・建設）41名が、約1年間職場を離れて本社で技術の学習に専念します。

#### ○これまでの修了者数

第7期	第8期	第9期
52人	53人	49人

※第1～9期合計385人

### ●My Project

社員が自らやりたいことを提案し、管理者の承認のもと業務の一環として取り組むのが「My Project」です。「My Project」は、「一人ひとりの発意でスタート」「手法は自由、プロセスを重視」「社員の成長が成果」という3つのポイントからなり、改善に取り組むことそのものを「人材育成の機会」と位置づけ、「自ら考え自ら行動する社員」の育成をめざしています。

# 福利厚生

当社では、社宅・寮、病院、保養施設などの充実をはかるとともに、ジェイアールグループ健康保険組合およびJR東日本グループ共済会などの各種制度を通じて、社員とその家族が豊かで健康的な生活を営めるような、福利厚生の確立に努めています。

## ■ 社宅・寮

### ○ 社宅・寮

(2018年3月31日現在)

社宅	約12,000戸
寮	約9,000室



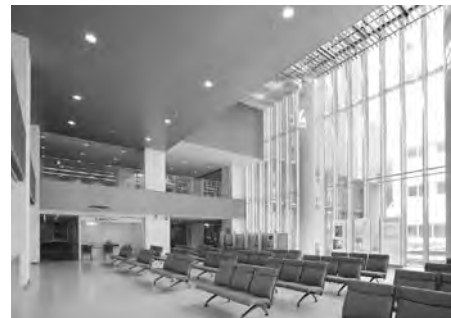
寮「ドルミエール大塚」

## ■ 直営医療機関

### ○ 医療施設

(2018年3月31日現在)

病院	JR東京総合病院	448床
	JR仙台病院	197床
JR東日本健康推進センター		1カ所
鉄道健診センター		7カ所



JR東京総合病院

## ■ 余暇支援

### ● レクリエーション

社員の健康増進と明るい職場づくりに寄与するために、レクリエーション活動を積極的に支援し、30種目の体育・文化クラブが活発な活動をしています。

### ● 保養施設

(2018年3月31日現在)

会員制リゾート施設	約80カ所
割引契約施設	約2,000カ所



利用補助施設  
「ホテルメトロポリタン(池袋)」

## ■ ジェイアールグループ健康保険組合

社員や家族の医療費などの給付を行っています。また、人間ドックなどの保健事業も行っています。

## ■ JR東日本グループ共済会

会員の相互扶助精神に基づく互助組織で、当社およびJR東日本グループ会社の社員等を対象とし、給付事業等を行っています。